

## テーマ発表②

「モンゴル・日本人材開発センターの取り組み」

片桐準二（モンゴル・日本人材開発センターJF 講座専門家）



日本語教育シンポジウム  
2013年3月2日  
於：モンゴル・日本人材開発センター

日本語教育スタンダードについての  
日本センターの取り組み

モンゴル・日本人材開発センター  
片桐準二

1

内容

- JF講座の開設
- JF日本語教育スタンダード<sup>CEFR</sup>と
- JF日本語教育スタンダードとは
- 準拠教科書『まる』と
- 『まるごと』受講生の声
- 今後の日本センター予定

2

JF講座の開設

- 国際交流基金(Japan Foundation=JF)は、2012年4月、モンゴル・日本人材開発センターにJF講座を開設した。
- JF講座とはJFが海外拠点(JFのセンター)および協定による実施拠点(日本センター)などにおいて、直営または他機関との提携によって実施する**一般学習者向けの日本語講座**。
- 2012年10月現在の実施機関は28機関  
東アジア3、東南アジア7、南アジア1、大洋州1、北米3、中南米2、西ヨーロッパ5、東ヨーロッパ5、アフリカ1

3

JF講座の目的

- 1) JF日本語教育スタンダードの考え方にに基づく日本語教育の普及・定着
- 2) **日本理解・異文化理解と日本語学習の結びつき**による学習者の裾野拡大と日本への関心の深化

4

## JF日本語教育スタンダードとは

### ①

- JF日本語教育スタンダード(以下、JFS)はヨーロッパ評議会(Council of Europe)が2001年に発表したヨーロッパ共通言語参照枠 (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment = **CEFR ; セフアール**) を参考にして作られた。

5

## JF日本語教育スタンダードとは②

- 日本語の**教え方**、**学び方**、**学習成果の評価の仕方**を**考えるための道具**である。
- 「**相互理解のための日本語**」を理念としている。
- ことばを通しての「相互理解」に必要な能力である「**課題遂行能力**」と「**異文化理解能力**」を育成
  - 「**課題遂行能力**」=その言語を使って**何がどのようにできるか**という能力
  - 「**異文化理解能力**」=他者の文化を**理解し尊重する**能力

6

## JFSの利便性

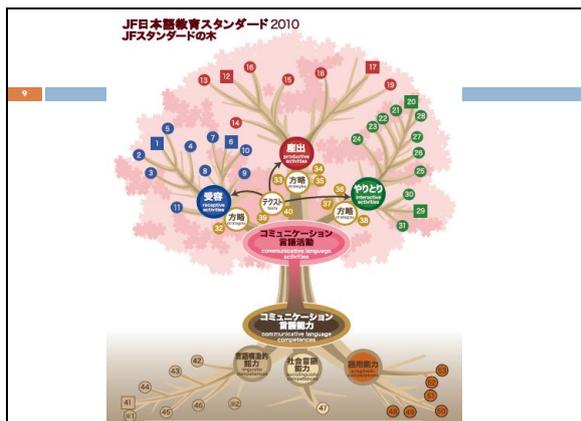
- 1)世界中のどこで日本語を勉強していても/教えていても、それがどんなレベルか知ることができるようになる。
- 2)自分の日本語能力をCEFR基準の他の言語の能力と比較できる。

7

## コミュニケーション能力の考え方

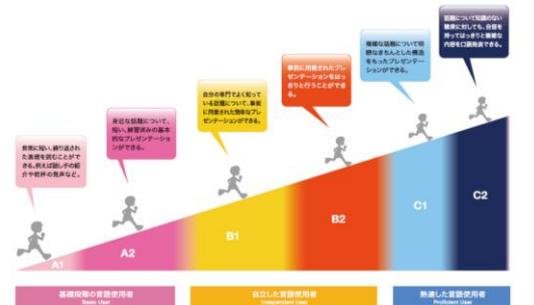
- JFSでは「**JFスタンダードの木**」でコミュニケーション能力を説明している。
- これは、CEFRの**コミュニケーション言語能力** (communicative language competence) と**コミュニケーション言語活動** (communicative language activities) の関係を参考にして作られた。

8



9

## 6つのレベル



10

## 6つのレベル

- A1-A2 **基礎**段階の言語使用者
- B1-B2 **自立**した言語使用者
- C1-C2 **熟達**した言語使用者
  
- A2,B1,B2は幅が広く、  
A2.1,A2.2, B1.1, B1.2, B2.1, B2.2に分けること  
もある。(全部で9レベルになる。)

11

## Can-do Statements

- 「課題遂行能力」を「～できる」(Can-do)とい  
う形式の文で示したもの。
- JFSとCEFRでは、カテゴリーごとに、レベルに  
分けてCan-doの例が提示してある。(JFSでは  
342例、CEFR493例)
- Can-doを使って、目標を提示し、学習者には  
自己評価をしてもらう。

12

## 「産出」－「経験や物語を語る」 のCan-doの例 (CEFRから)

- **B2** **自分の関心のある分野に関連した広範  
困な話題**について、**明確で詳しく述べる**  
ことができる。
- **A2.1** **家族**、住居環境、学歴、現在や**ごく  
最近までしていた仕事**を述べること  
ができる。
- **A1** **自分について**、自分が何をしているか、  
自分が住んでいる場所を、述べるこ  
とができる。

13

## JFS準拠教科書『まるごと』

- 『まるごと日本のことばと文化』には  
『活動編』と『理解編』がある。
- 『活動編』はスタンダードの木の枝で表  
されるコミュニケーション**言語活動**を学  
ぶ。
- 『理解編』はスタンダードの木の根で表  
されるコミュニケーション**言語能力**を学  
ぶ。
- 『活動編』と『理解編』はトピックを共  
有した**トピックシラバス**の教科書である。

14

## JFS準拠教科書『まるごと』



15

## 他のJFSの提案

- (1) **パフォーマンス評価**
  - コミュニケーション能力を**直接**評価する。
  - 会話・スピーキング・作文などの評価に有効。
  - Can-doを使った評価表を使って評価する。
- (2) **ポートフォリオ**
  - 学習者が**自分の学習経験、学習成果、成果物**を記  
録し、自分で管理するもの。
  - **自律した学習者**を育て、**生涯学習**を促進するもの。

16

3 日本はいい、ほめて

絵や写真から考えさせる→CDを聞かせて気付き・発見を促す→最低限の説明→練習させる

17

## 日本センター受講生の反応(1)

### 【Can-do】

- 目標があって学びやすい。
- 毎回授業の最後に振り返ることで、その日学んだことが確認できてよい。
- ポートフォリオに入れているので、あとでも自分が学んだことを確認できる。

### 【自己評価】

- はじめはできなかったが、少しずつ慣れていった。
- 悪い点をつけたときは、家に帰って復習をした。

18

## 日本センター受講生の反応(2)

### 【ポートフォリオ】＝学習者への影響が大きい

- はじめはよく分からない。
- 日本語学習と関係ない。
- やっているうちに分かってきた。
- グループでポートフォリオについて話し合ったのが良かった。人のを見て、やる気が出てきた。
- ファイルが満たされるにしたがって、自分で学ぶということが実感されてきた。積極的に学ぶようになった。

19

## 今後の日本センターの予定

- JFS準拠の日本語コースの拡充
- 『まるごと』を使ったモデル授業の公開（授業を見学してもらう）
- 地方へ出張しての紹介講座
- モンゴル日本語教師会、ウランバートル市教育局との連携により、JFSを利用したモンゴル日本語教育スタンダードの開発への協力。

20

## ご清聴ありがとうございました

こちらをぜひご覧ください！

- JF講座  
<http://www.jpf.go.jp/j/japanese/jf/index.html>
- JF日本語教育スタンダード  
<http://jfstandard.jp/summary/ja/render.do>
- みんなのCan-do サイト  
<http://jfstandard.jp/cando/top/ja/render.do>

21